

国際学部・経営学部 教職課程(中・高免) オリエンテーション

2025年4月1日

東京あだち教育支援課



BUNKYO UNIVERSITY

これから、国際学部・経営学部の新一年生向け教職課程オリエンテーションを始めたいと思います。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員は、
原則として、学校の種類ごとの教員免許状が必要
(文部科学省「教員免許制度の概要」)

教員免許状を取得するには、
文部科学大臣に認められた教職課程を有する
大学等で「基礎資格」を得て所定の単位を修得し、
都道府県教育委員会に申請しなければならない。

早速、教職課程についてですが、
幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員は、原則として、学校の種類ごとの教員免許状が必要です。

教員免許状を取得するには、文部科学大臣に認められた教職課程をもっている大学等で「基礎資格」を得て所定の単位を修得し、
都道府県教育委員会に申請しなければなりません。

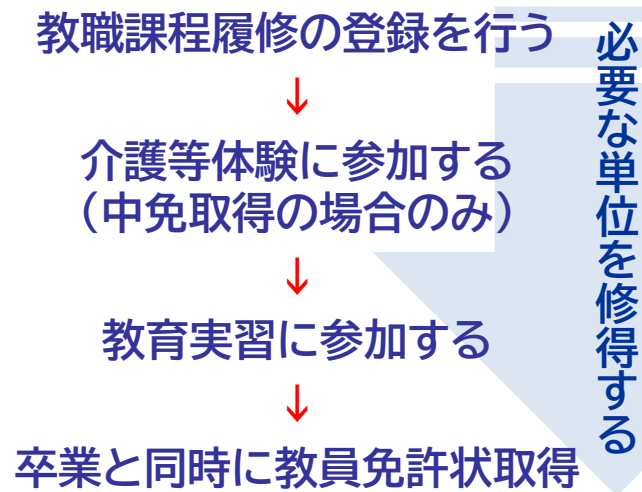
この基礎資格とは、在学期間、学位、及び文部科学省令で定める科目の修得単位などのことを指します。

学科	自学科で取得できる免許状	備考
国際理解学科	○中学校教諭一種「社会」 と高等学校教諭一種「公民」 ○中学校教諭一種「英語」 と高等学校教諭一種「英語」	・中高の免許はセットで取得 ・いずれか一方のみ取得可
経営学科	○高等学校教諭一種「商業」	

次に、取得できる免許状についてですが、国際学部国際理解学科は中学校教諭一種「社会」と高等学校教諭一種「公民」、それと中学校教諭一種「英語」と高等学校教諭一種「英語」いずれか一方の

組み合わせで取得が可能で、経営学部経営学科は、高等学校教諭一種「商業」が取得可能です。どちらの組み合わせを選んでも、中高の免許はセットとなります。

例えば、中学校「社会」の免許だけ取るということとはできず、その場合は必ず高校「公民」とセットとなります。



大まかな教職や免許等の概要をご説明いたしましたが、次は実際の免許状取得までの流れをご説明いたします。
まずは、教職課程履修の登録を行う必要があります。教職科目の単位を修得しつつ、介護等体験と教育実習に参加します。
晴れて卒業と同時に教育免許状が取得できます。

教員免許状の取得には、以下の三つの科目区分の単位を修得しなければなりません。

免許状等	免許状取得のための基礎的科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等
中「社会」・高「公民」	P123	P124	P125
中「英語」・高「英語」		P126	P127
高「商業」	P135	P136	P137

※P～は、『2025年度履修のてびき』の参照ページ

教員免許状の取得には、以下の三つの科目区分の単位を修得しなければなりません。

- 一つ目が**免許状取得のための基礎的科目**
- 二つ目が**教科及び教科の指導法に関する科目**
- 三つ目が**教育の基礎的理解に関する科目等**

次のスライドから一つずつ説明していきます。

免許状取得のための基礎的科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)

- どの免許状を取得するにも修得が必要な8単位で、免許状取得のためにはすべて**必修**
(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)
- 自分の学部・学科で指定された科目を修得すれば、他学科の免許状を取得する場合に使いまわしが効く
- 「日本国憲法」と「スポーツ・健康実習」「健康科学」は各学部の共通教育科目
→意識して早めに修得すること(「スポーツ・健康実習」は抽選科目)

まずは免許状取得のための基礎的科目についてですが、どの免許状を取得するにも修得が必要な免許状取得のためにはすべて**必修**となっています。

自分の学部・学科で指定された科目を修得すれば、他学科の免許状を取得する場合に使いまわしが効きます。

「日本国憲法」と「スポーツ・健康実習」「健康科学」は各学部の共通教育科目となっているため、意識して早めに修得することをお勧めします。

教科及び教科の指導法に関する科目 《教科に関する専門的事項》

- 免許状ごとの教科の内容に関する科目
- 各学部学科の卒業のための科目を兼ねる
→たとえば、中高「英語」(P126)の「国際理解とコミュニケーション」は、「英語」の免許状を取得するための科目であるのと同時に、国際理解学科の選択必修科目でもある
→その科目の単位を修得すれば、両方の意味として使用できる
- 『履修のてびき』の各表にある、「修得すべき単位数」の指定にしたがって、効率よく修得すること
- 教職課程の「必修」は必ずしも卒業のための「必修」ではないことに要注意

次に、教科及び教科の指導法に関する科目についてですが、免許状ごとの教科の内容に関する科目で、各学部学科の卒業のための科目を兼ねます。

たとえば、中高「英語」の「国際理解とコミュニケーション」は、「英語」の免許状を取得するための科目であるのと同時に、国際理解学科の選択必修科目でもあるので、その科目の単位を修得すれば、卒業要件単位としても、教職の単位としても使用できます。

『履修のてびき』の各表にある、「修得すべき単位数」の指定にしたがって、効率よく修得してください。

教職課程の「必修」は必ずしも卒業のための「必修」ではないことに注意が必要です。

教科及び教科の指導法に関する科目
《各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)》

- 免許状ごとの教科の指導方法に関する科目
- 各免許状取得のためにはすべて必修(単位を落とさないこと)
- 各学部学科の卒業のための単位には使用できない
- 各学期の履修登録単位数制限には含めない
- 教育実習参加には3年次までにすべての修得が必要であり、かつ、履修の順序が決まっているため、途中ひとつでも未修得だと、4年間での教員免許状取得は不可能になります

教育の基礎的理解に関する科目等

- 免許状を取得するための教職について理解するための科目
- 免許状取得のためにはすべて**必修(単位を落とさないこと)**
- ただし、**各学部学科の卒業のための単位には使用できない**
- 各学期の**履修登録単位数制限には含めない**
- 複数の免許状を取得する場合、同じ名称の科目は1つ修得すればそれぞれに使用できる
→たとえばP119の「教職概論」は、P131の「教職概論」でもある
- 「教育実習A(中学)」を修得すれば「B(高校)」は修得不要

大学が独自に設定する科目

- 高「商業」を取得する場合の「道德教育指導論」のみ該当
- 中「社会」高「公民」、中・高「英語」の免許状取得には必修だが、高校「商業」を取得する場合は履修しなくてもよい
- また、各学部学科の卒業のための単位には使用できない

介護等の体験(中免のみ)

- 義務教育課程の免許状を取得するためには、「介護等の体験」への参加が必須(東京あだち校舎では、中学校の免許状取得のために必須)
- 授業ではないため単位は発生しない
- 日数は7日間
(2日間:特別支援学校、5日間:社会福祉施設)
- 実施は3年次で、2年次秋に申込を受け付ける
- 体験費用として、15000円を納入する(申込時)

BUNGYO UNIVERSITY

3年次に介護等の体験があります。

2年次の秋に申し込みを受け付けが始まります。

義務教育課程の免許状を取得するためには、「介護等の体験」への参加が必須となっており、あだち校舎では、中学校の免許状取得のために必須となっています。

中高抱き合わせが基本ですので、経営学部の「商業」のみを希望する学生以外は、基本的に参加となります。

授業ではないため、単位は発生いたしません。

日数は7日間で、2日間:特別支援学校、5日間:社会福祉施設となります。

体験費用として、申込時に15000円を納入することになります。

教育実習(中学校または高等学校)

- 教員免許取得のためには必ず教育実習を4年次で行い、単位を修得しなければならない
- 必要な単位数等として次のとおり

免許種	科目	実習先(期間)	実習費用
中「社会」・高「公民」 中・高「英語」	「教育実習A(中学)」(4単位)	中学校 または 高等学校 (3週間)	25000円
高「商業」のみ取得	「教育実習B(高校)」(2単位)	高等学校 (2週間)	20000円

- 教育実習参加のためには必要な科目等の条件があるため、『履修のてびき』で確認のこと

介護等体験と併せて、4年次に教育実習を行う必要があります。教育実習は介護等体験と異なり、教員免許を取得するうえで必要な単位となります。

必要な単位数等は次の通りです。

中「社会」・高「公民」と中・高「英語」は教育実習A(中学)という科目名です。期間は中学校または高校に3週間行っていただき、実習費用は25000円となります。

高「商業」の場合、教育実習B(高校)という科目名で、実習先は高校のみで2週間、実習費用は20000円となっております。

そのほか教育実習参加には、必要な科目等の条件があるため、『履修のてびき』でよく確認するようにしてください。

教職課程履修の登録について

- 教員免許の取得は任意(とらなくてもよい)であり、取得希望の登録(教職課程履修登録)が必要
- 免許状取得希望者は、以下の手順で手続きをとること
 - ①「**教職概論**」を履修登録する
 - ・国際学部・経営学部 → 水曜2限(赤坂先生・新井先生)
 - ②ある程度授業が進んだ段階で「教職概論」履修者に連絡するので、**課程履修の希望を提出する**(web上での実施を予定。時期は未定)
 - ③**教職課程履修費を納入**する(大学で納入用紙を発行します)
- 教員免許状取得に**興味がある場合は、必ず「教職概論」を履修すること!**
授業を受けてみて「やっぱりやめよう」となれば、課程履修登録手続きの段階で履修登録の削除を認めます。

ではこれからの具体的な手続きにつきまして、ご説明いたします。

まず初めにお伝えするのは、少しでも教職課程に興味を持っている方は、水曜日2限の「教職概論」を履修登録してください。

ある程度授業が進んだところで教職概論の履修者に向けて、教職課程の履修を引き続き希望するか、連絡をいたしますので
その時に正式に決めていただきたいと思います。

そこで万が一、辞退したければ履修登録の削除を認めます。
(受けていなかったことになるので、成績やGPAなどに響くことはありません)

教職課程履修登録できる免許状について

学科	自学科で取得できる免許状	備考
国際理解学科	A)中学校教諭一種「社会」 と高等学校教諭一種「公民」 B)学校教諭一種「英語」 と高等学校教諭一種「英語」 ※A)またはB)いずれか一方のみ	・いずれかを登録したうえで、経営学科の「商業」を追加可 ・国際観光学科の学生もいずれかを登録可
経営学科	○高等学校教諭一種「商業」	・自学科の「商業」を登録したうえで、国際理解学科の中「社会」高「公民」または中高「英語」を追加可

教職課程履修登録できる免許状についてですが、最初の方のスライドで説明したような組み合わせが基本ですが、国際理解学科の場合はいずれかの組みあわせにプラスして、経営学科の「商業」をとることも可能です。

反対に、経営学科は「商業」も登録に加えて、国際理解学科の中「社会」高「公民」または中高「英語」を追加することが可能です。

教職課程履修費について

- 課程履修登録後に納入いただきます(時期等は別途連絡)
- 課程履修費は、**自学科の課程を登録すると20000円**
- 他学科の課程を登録すると**さらに20000円**
- 課程履修費は卒業まで有効です

教職課程履修費についてですが、課程履修登録後に納入いただきます(時期等は別途連絡)

課程履修費は、**自学科の課程を登録すると20000円で、他学科の課程を登録するとプラスで20000円がかかります。**
(例えば、国際理解学科の学生が中高「英語」と高校「商業」の課程を登録すると、40000円となる)

麻疹の抗体確認について

- 麻疹(はしか)は極めて感染力の強い病気であり、きちんと対策していないと、自分が感染した際、重症化したり、学内や学外実習などで他人に感染させ、大きな被害を生む可能性がある
- 過去に大学生の間で麻疹が流行し、大学の閉鎖や教育実習の中止、延期などが生じた
- 一方で、過去に罹患歴があるか、2回のワクチン接種によって抗体を得ることができる
- 教職課程を履修する場合、麻疹の抗体があることを確認する
 - 母子手帳の予防接種欄や、ワクチン接種証明書の写しを提出する
 - 罹患歴も、2回のワクチン接種歴も確認できない場合、抗体価検査で抗体の有無を確認し、不十分であればワクチンを接種いただく(自己負担)
- 詳細は追って連絡します

- 教員免許取得のためには、**通常よりはるかに多くの単位を修得しなければなりません。単に「資格がほしい」という気持ちだけで継続するのは困難**です。本当に先生になりたい人だけが登録してください。
- 国際観光学科からの教員免許状取得はとくにたいへんです。
- 他学科の免許状を取得する場合、時間割がうまく組める保証はありません。したがって、4年間での取得はお約束できません。
- 教職課程履修登録は1年次春学期中に行いますが、**1年次おわりごろ、教職課程履修の新規登録と、免許種の変更の機会があります(面接等をクリアする必要あり)**。そこが最後のチャンスです。

ここからは注意事項です。

教員免許取得のためには、**通常よりはるかに多くの単位を修得しなければなりませんので、単に「資格がほしい」という気持ちだけで継続するのは困難**です。

本当に先生になりたい人だけが登録をしてください。

教職課程が設置されていないため、国際観光学科からの教員免許状取得はとくにたいへんです。希望している学生の方は改めて卒業要件の単位と両立が出来そうであるかを考えてみてください。

それと併せて、他学科の免許状を取得する場合、時間割がうまく組める保証はありません。したがって、4年間での取得はお約束できません。

教職課程履修登録は1年次春学期中に行いますが、**1年次おわりごろ、教職課程履修の新規登録と、免許種の変更の機会があります(ただし面接等をクリアする必要あり)**。

そこが最後のチャンスとなります。

1. 教員免許取得には、「免許状取得のための基礎的科目」「教科及び教科の指導法の科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の三区分の単位取得が必要。
2. 「基礎的科目」と「教科に関する専門的事項」の科目は卒業要件単位を兼ねるため、教員免許取得に必要な科目を効率よく選択すること。
3. 「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位は卒業要件には使用できない(履修登録単位数制限にも含めない)。すべて必修であり、科目によっては教育実習の参加要件にもなるため、必ず開講セメスターで修得すること。
4. 中学校免許取得には介護等体験の参加が必要(3年次)。
5. 以上をふまえ、教員免許取得に意欲がある場合は「教職概論」(水2)を履修登録すること。
6. ある程度授業が進んだところで、教職課程履修希望をとる。そのときに辞退してもOK。希望者には追って納付書を配布するので、1課程あたり20,000円の課程履修費を納入すること。
7. 1年次での教職課程履修登録を見送った場合、つぎの機会は2年次春学期からの履修(12月ごろに募集)。
8. 教職課程履修者には麻疹の抗体確認を行う

まとめです。(1～7をそのまま読む)

7番に関しては、この2年次の春学期が在学中ラストチャンスとなりますので、今のうちからよくご両親とも話し合って決めてください。